

資料3

あんしん医療制度研究会の開催について

■ 京都府健康福祉部 2009年5月 ■

5月21日のあんしん医療制度研究会について、京都府が府議会厚生常任委員会に対し提出した報告書。

あんしん医療制度研究会の開催について

平成21年5月
健康福祉部

1 開催日時等

- ① 日時 平成21年5月21日（木） 14:00～16:00
- ② 場所 京都ガーデンパレス 鞍馬
- ③ 委員 別添名簿のとおり

2 座長及び座長代理

- 委員の互選により、今中委員（京都大学大学院医学研究科教授）を座長に選出
- 座長の指名により、笹田委員（滋賀県立成人病センター総長）を座長代理に選出

3 調査研究内容等

- 事務局から研究会の調査研究内容等を説明
 - ① 疾病構造・医療資源に関する調査研究
 - ア 医療圏を越えた患者の受診行動の把握
 - イ 需要側と供給側についての状況の変化
 - ② 市町村国保に関する調査研究
 - ア 将来における各市町村国保の財政状況
 - イ 将来における各市町村の国保保険料
 - ③ 都道府県の保健医療政策に関する調査研究

4 主な意見

- 府民の安心を考えるならば、府民が医療のみに依存しすぎることなく、自立して生活できることも大切であり、そのため自ら健康の維持に努める必要があることから、医療や健康に関する信頼度の高い情報を行政が提供していくことが必要。
- 寿命の延伸により、疾病構造も変化している中で、府民が望む医療提供体制の実現が課題。
- 「あんしん医療」の実現について、府民が何を求めているか把握することが大事。また、医療と介護の線引きも非常に難しく、その点をよく考えた分析が必要。
- 国民皆保険の維持が重要だが、市町村国保の運営は非常に厳しい。国保一元化の議論に期待している。